



地域とつながる広報誌



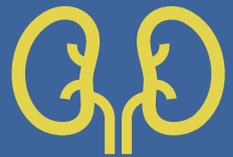
# やすらぎ

特集

## 慢性疾患と戦う 糖尿病内分泌・腎臓・膠原病内科



糖尿病・内分泌専門医  
長谷川 剛二



腎臓病専門医  
村上 徹



膠原病・  
リウマチ専門医  
荻田 祐司





特集

## 慢性疾患と戦う

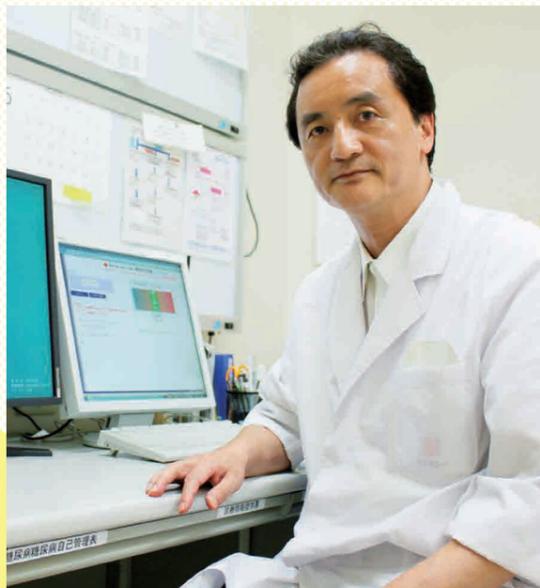
# 糖尿病内分泌・腎臓・膠原病内科

糖尿病、腎臓の病気、膠原病…。いずれも長い付き合いが必要な慢性疾患です。そんな慢性疾患の患者さんを長期にわたって支える「糖尿病内分泌・腎臓・膠原病内科」をご紹介します。

## 長い付き合いが必要な慢性疾患を チーム医療でサポートします

当科は糖尿病と甲状腺をはじめとしたホルモンの病気、腎臓の病気、膠原病・リウマチの診療を行っています。それぞれの病気の急性期や重症化した時の治療、または診断に専門性を生かして対応します。慢性期は、我々と連携をとりながら地域の診療所に通院していただき、患者さんの負担が少ない質の高い医療を提供します。

一方で、いずれの病気も慢性疾患として長い付き合いが必要です。看護師、栄養士、薬剤師、検査技師などを含めた多職種チーム医療で個々の患者さんに応じた療養を提案します。



糖尿病内分泌・腎臓・膠原病内科 部長 長谷川 剛二

京都第二赤十字病院

## 糖尿病内分泌・腎臓・膠原病内科の3つの強み

1

3つの専門科の垣根を越えた協力体制で、質の高い医療を提供

2

最新の研究をいち早く診療に反映

3

高い専門性でかかりつけ医とともに患者さんを長期サポート



内科専攻医 豊國 恵麻

長い付き合いが必要な慢性疾患だから…

## 糖尿病内分泌・腎臓・膠原病内科では 食生活から病気の改善を目指す**栄養相談**を行っています

### そもそも、栄養相談とは？

1人ひとりのライフスタイルに合わせた食事のアドバイスをします。例えば、何をどれくらい食べたらいいか、調理法や食べ方の工夫をフードモデルやパンフレットを使いながら分かりやすく具体的に説明します。特定健診を受診され、腹囲や高血圧、脂質異常症、高血糖の1項目以上該当すれば特定保健指導（栄養相談）の対象になります。糖尿病や、慢性腎臓病、高血圧などの疾患ですでに治療をされている方は、主治医を通して栄養相談の依頼が必要となります。



内科専攻医  
法里 茉里奈



膠原病・リウマチ担当  
北川 裕子

### 糖尿病教育入院のご案内

クリニカルパスによる6日間（月～土）の糖尿病教育入院を行っています。実際に糖尿病食を体験しながら、糖尿病に関する知識、ご自身の病状について学んでいただきます。ご自身の生活に合った食事や日常生活での自己管理に必要な事柄のアドバイスを行います。

合併症評価のための検査も行います。（負荷心電図、自律神経機能検査、脈波伝播速度検査、心臓超音波検査、腹部超音波検査、頸動脈超音波検査など）

	1日目 (月)	2日目 (火)	3日目 (水)	4日目 (木)	5日目 (金)	6日目 (土)
午前	入院	個別栄養指導、服薬指導、胸部XP、トレッドミル、心エコー、頸動脈エコー、ABI/CAVI、CVR-R、腹部エコー、眼科受診			血糖日内変動	退院
午後	糖尿病教室 (栄養士)	糖尿病教室 (医師)		糖尿病教室 (薬剤師/検査技師)	統括	

\*適宜、ベッドサイドティーチング、DVD視聴が入ります。 \*13日間（月～翌週、土）のコースも可能です。講義内容は毎週変わります。

### 糖尿病療養指導

予約  
参加費  
不要

#### 糖尿病教室

- 日時** 毎週 月火木、14:00～15:00  
月：栄養士  
火：医師  
木：薬剤師/検査技師  
(第5木：特別講演)
  - 会場** C棟1階 多目的室1  
(場所は変更になる場合がございます)
  - 問い合わせ** 採血室看護師 (山根、河合まで)
- 予約、参加費不要：直接会場へお越しください

#### 糖尿病患者会：火曜会

- 料理教室、レクリエーション、総会（患者交流会）など
- 月刊誌「さかえ」の配布  
(日本糖尿病協会発行)
- 年会費** 5000円
- 問い合わせ** 医療社会事業課



## 膠原病・リウマチ疾患担当医が代わりました

平素より、多くの患者様のご紹介いただき、心より御礼申し上げます。

4月から人事異動に伴い当科のメンバーに変更がありました。特に、膠原病リウマチ疾患を担当しておりました井上部長(検査部)が健診部の診療に異動し、代わって京都府立医科大学の膠原病リウマチ内科から2名の若手医師が加わりました。今まで以上のアクティビティーで診療、病診連携に取り組めますので、多くの膠原病・リウマチ・炎症疾患のご紹介をお願いいたします。

糖尿病内分泌・腎臓分野は小牧和美(腎臓)と田畑華子(糖尿病内分泌)が退職し、瀬野真文(腎臓)と梶山真太郎(糖尿病内分泌)が加わりました。また新内科専門医プログラムの開始に伴い、H28卒の専攻医がローテーターとして診療に加わります。

各医師が高い専門性を持ち、当科が地域医療の核となり、病診連携を介して先生方のお役に立てることを目標にしております。引き続きよろしく願い申し上げます。

### 糖尿病・内分泌疾患



長谷川 剛二



門野 真由子

病診連携による地域レベルでの糖尿病診療を目指しています。教育入院(6日間、13日間コース)、血糖持続モニタリング、合併症評価、治療方法の見直し、外来糖尿病教室、栄養指導、糖尿病患者会などをご利用ください。個々の病態を十分検討した上で適正な治療法を選択し、さらにQOL・生活環境・自己管理能力・合併症・併発症などを考慮した最善の治療を提示します。急性合併症・併発症はいつでもお受けいたします。

また、内分泌内科では3名の専門医(長谷川・門野・加藤)が在籍し、内分泌内科として充実の診療体制を整えています。内分泌疾患は日常診療の中で先生方が疑うことによって発見されます。「内分泌疾患では?」と思われるらご紹介ください。



加藤 さやか



梶山 真太郎

### 膠原病・リウマチ疾患



荻田 祐司



北川 裕子

当科では生物学的製剤や免疫抑制剤を積極的に用いて、ステロイド投与量を可能な限り少なくする治療を行ってまいります。原因不明の発熱、関節痛、皮疹、レイノー症状、炎症反応高値など、膠原病やリウマチ疾患を疑う症例がありましたら当科までご紹介ください。すでに膠原病やリウマチ疾患の診断で治療されている症例でも、治療方針にお困りの際には当科にご相談いただければ最新のエビデンスに基づいて治療方針をご提示させていただきます。

### 腎疾患



村上 徹



瀬野 真文

健診で尿潜血や尿蛋白を指摘された方、ネフローゼ症候群が疑われる方がおられましたらご紹介ください。腎生検をはじめとした専門的アプローチで診断、治療します。また種々の生活習慣病と関連が深い慢性腎臓病(CKD)の病診連携を進めます。慢性腎臓病の進展防止のための教育入院も行っています。急性腎障害のご紹介はいつでもお受けいたします。透析導入、血液浄化療法(血漿交換・LDL吸着・免疫吸着・白血球/顆粒球除去など)も可能です。

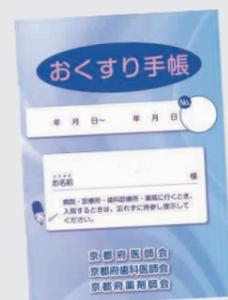
## 災害まめ知識

2018年6月18日、大阪府北部を震源として最大震度6弱の地震が発生しました。また同月28日から7月8日頃にかけて発生した西日本豪雨は、死者200人を超える大災害となりました。これらの災害から改めて防災意識を高めた方も多かったのではないのでしょうか。今回は、薬剤師の立場から『災害時にこそ活躍するお薬手帳』を紹介させていただきます。

### 災害時! お薬手帳があるとないでは大違い!!



災害時に何故お薬手帳が必要なのか。いざとなれば普段使用しているお薬を持ち出せば大丈夫と思われるかもしれませんが、手持ちのお薬はいつかなくなってしまうし、続きのお薬の処方が必要になります。奇跡的に持ち出せても、かかりつけの医療機関が機能せず続きのお薬を処方できないこと



があるのです。受診したことがない医療機関では患者さんのお薬の情報はありませんで、患者さんご自身が普段使用しているお薬の情報を正確に伝える必要があります。仮にお薬が手元にあつ

たとしても、使い方・副作用歴・アレルギー歴の詳細を伝えることは難しく、時間もかかります。そして、これらの情報が分かりやすく記載されているのが『お薬手帳』なのです!!

実際、東日本大震災、熊本地震の時にもお薬手帳を携帯している患者さんにお薬をスムーズに処方することができ大変役立ちました。全てのお薬の情報がすぐに分かるように、お薬手帳を1冊にまとめることが推奨されています。

万が一に備え、常用している医薬品、『お薬手帳』を保険証と一緒に携帯し、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。(薬剤部 岸本 美紀子)

病院に中学生がやってきた!

## 中学生の職場体験記

5月21日(月)~24日(木)の4日間、市内の中学2年生3名を受け入れ、各部門の協力の下職場体験を行いました。

4日間で働くことの大変さややりがいを学んだ生徒たち。この経験が将来の夢に一歩近づくものになることを願います。



救護服を着て記念撮影



放射線科にてマンモグラフィーなどを体験しました

救急科指導の下、心臓マッサージを体験!



検査部のスタッフをモデルに腹部エコーを体験



入院患者さんが食べる入院食を試食しました



日本赤十字社 京都第二赤十字病院 主催

# 第30回 病病・病診連携懇話会開催

先生方に支えられ、今回は **30** 周年を迎えることができました

6月14日(木)、京都ブライトンホテルにて、当院主催の病病・病診連携懇話会を開催いたしました。病病・病診連携懇話会は、平成元年から開催され今年で30周年を迎えることができました。

開演に先駆け、小林院長よりご紹介いただいております開業医の先生方、後方連携の施設の方々への謝意を込めた開会の挨拶にて、懇話会がスタートしました。

懇話会の第一部では「臨床研修病院としての京都第二赤十字病院」と題して、教育研修管理委員長兼務の谷口副院長が研修病院としての役割やプログラムなどを講演しました。

第二部では村上脳神経外科部長、藤井小児科副部長、岡野外科副部長が、さらなる地域医療連携を目指し、各科における診療内容・取り組みについて講演いたしました。

また、長村副院長から「病診・病病連携の現状」を紹介および後方連携いただいた件数を交えて報告があり、最

後に出島副院長、上田事務部長をはじめ村上(脳神経外科)、内田(気管食道外科)、柿原(化学療法・緩和ケア科)部長以下各科副部長(6名)医長(8名)の新任・昇任者を紹介しました。

懇親会では、上京東部医師会長の太田義治先生による乾杯の音頭の下、各診療科ごとの席では普段のお礼やさらなる懇親が図られたのではないのでしょうか。今回ご参加くださった開業医の先生方(72名)、施設の方々(117名)、当院職員(120名)と盛況な会を執り行うことができました。

今後さらにご紹介をいただきやすい体制、他施設との連携強化を病院全体で整えていくために引き続き皆さまのご理解と協力をお願い申し上げます。

地域医療連携課



## 開会 開会の挨拶



小林院長による開会の挨拶

## 懇話会

### 第一部

### 臨床研修病院としての 京都第二赤十字病院

副院長 谷口 弘毅



### 第二部

### 更なる地域医療連携を目指して ～各科における診療内容・取り組みについて～



「当院脳神経外科の新診療体制と昨年度の診療実績」 脳神経外科部長 村上 陳訓



「当院における病診・病病連携の現状」 副院長 長村 敏生



「小児科食物アレルギー外来の現状と経口食物負荷試験の実績」 小児科副部長 藤井 法子



「全身麻酔当日入院症例に対する入退院支援推進の取り組み」 外科副部長 岡野 晋治

## 懇親会 開宴の挨拶 乾杯の音頭

昨年に引き続き、上京東部医師会長の太田義治先生に乾杯の音頭をいただきました



約300名の方にご参加いただきました

## 閉会

### TOPICS トピックス

## ANAから「すずらんのしおり」プレゼント



第63回（しあわせの花すずらん）贈呈式

5月31日（木）、今年もANAグループから、すずらんの鉢植と手書きメッセージ入りのしおりが届きました。客室乗務員さんから想いのこもったしおりをプレゼントされた入院患者さんは、いい匂い、嬉しいねとお話しされ、笑顔溢れるひとときとなりました。



いつか北海道に行ったら本物のすずらんを見に行きたいね♪



### Volunteer ボランティア

## 散髪ボランティアを行っています



毎月第1月曜日（5月～11月）に入院患者さんを対象として散髪ボランティアを実施しています。アムズ株式会社美容師さんが来てくださり、約10名の患者さんをカットして下さいます。患者さんにはさっぱりしたと喜んでいただいています。



### Lecture 健康講座

## 平成30年度 8月健康講座



### 慢性腎臓病 (CKD) について

8月24日（金）14:00～<sup>みやこ</sup>京あんしんこども館  
（糖尿病内分泌・腎臓・膠原病内科/村上 徹）

### 腰が痛い～骨髄腫かも～ 多発性骨髄腫の診断と治療の進歩

8月24日（金）15:00～<sup>みやこ</sup>京あんしんこども館  
（血液内科/魚嶋 伸彦）



MIZUHO みずほ銀行

一緒にうれしい  
On Your Side

みなさまのすぐなりに  
京都中央信用金庫がいます。

府庁前支店

釜座通丸太町上ル西側

☎ (255) 6181  
☎ (255) 6201

京都中央信用金庫

なが——い、おつきあい。

飾らない銀行

京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る薬師前町 700 番地  
TEL.075-361-2211 (代表)